

# センター通信

第 2 号 平成 16 年 6 月  
千葉県内水面水産研究センター  
〒285-0866 佐倉市臼井台 1390  
TEL 043-461-2288 FAX 043-460-1340  
E-mail naisuiken@mz.pref.chiba.jp

## I. 「魚にやさしい水辺づくり相談窓口」の設置について



本館の玄関に入って、すぐ左側が相談室



相談室の様子

内水面水産研究センターでは、川や湖に生息する魚類、エビ類、貝類などがすみやすい環境を守っていくために、県民の皆さんが保全活動を行うときに生じた疑問や技術的な相談に応じるための窓口を作りました。

また、県内河川湖沼に生息する魚類、甲殻類に関する情報についても、皆さんに利用してもらいたいと考えています。

\*

相談窓口では、毎週水曜日の 9:30～16:30(祝祭日を除く)に、担当者に対応します。これ以外の曜日でも電話による問合せは可能ですが、調査や会議のために担当者が不在の場合が多く御迷惑をかけることが多かったので、水曜日を相談窓口の開設日とし、担当者に対応できるようにしたものです。

このため、当センターにおいていただく場合には、水曜であれば事前の連絡をいただかなくても対応が可能です。ただし、来客者が重なる場合もありますので、できれば事前に御連絡いただくと助かります。

\*

私達職員も、いろいろな知識や経験を持っていますが、不勉強な点多々あり、十分な対応ができない場合もあるかと思えます。そういった時には、皆さんと一緒に調べたり考えたりしながら、問題が解決できればと思えます。また、内容によっては、他の機関の方が詳しい場合もありますので、適切な機関をご紹介しますこともあるかと思えます。

\*

魚にやさしい水辺づくりを進めていくために、水辺環境を守る活動をされている方々のお役に立ちたいと思えます。



水辺の保全技術魚類相に関する資料があります

なお、県内に生息する魚介類や漁具を展示した施設も公開しておりますので(月～金曜日:祝祭日は除く)御利用ください。

(資源環境研究室)

## Ⅱ ホンモロコ試験について

ホンモロコは淡水魚の中では大変美味しい魚の一つに数えられ、特に冬場は美味しくなり食用として珍重されています。原産地の琵琶湖では資源量が減少し、漁獲量はこの15年間で1割以下まで落ち込んでしまいました。

ホンモロコは4～5月頃に産卵・ふ化し、10月頃には2～5gに成長します。このサイズでは、雑魚の佃煮風に(千葉県では雑魚の佃煮はモツゴという魚を用いるのが普通です)煮ると美味しく食べられます。また、春先になると卵を持つメスは「子持ち」と呼ばれ、食通の間では特に美味と言われています。

\*

### 評判の良かった県産佃煮

当センターでは、ホンモロコが新しい食用魚としてもっとも商品化可能な魚種であるとの判断から、昨年度(平成15年度)より養殖試験を始めています。昨年は内水面漁連と協力した養殖試験に取り組みました。

当センターの稚魚(ふ化後40日目(平均体重約0.07g))を6月から我孫子手賀沼漁協の飼育施設に池入れし、11月に取り上げています。生残は8割以上となかなか良かったのですが、この時の平均体重は約1.2gと、成長の方は今一つでした(平成15年度試験結果より)。これは、できあがった魚を佃煮にして試食するため、給餌を制限し成長を抑えたことも一因だったようです。



ホンモロコの成魚です



我孫子手賀沼漁協飼育施設



フェアでの加工品販売風景

加工したホンモロコは、15年11月22日に船橋競馬場で行われた「千葉の農林水産物フェア」に出店し、1パック(約200g)300円で試験販売したところ評判が良く、2時間ほどで完売しました。

\*

### 休耕田を使った養殖試験に挑戦

平成16年度は昨年の経験をふまえ、休耕田を用いた更に規模の大きい養殖試験を実施しています。

当センターで採卵した受精卵、約47万粒/1反歩を目安として県内の休耕田に収容し、5月17日より養殖試験を開始したところです。今年は5月に入り天候の良くない日々が多かったのですが、天候の状態をみながら、翌日晴れて気温の上昇する日を選び、親池にキンラン(付着器材)

を用いて産卵させました。受精した卵はふ化までに5～7日間程度かかりますが、もっとも移動に強い時期でもあります。卵の移送は無水状態が可能なことから比較的簡単で、飼育池内への移動はこの時期に行います。ふ化直後から池内のワムシやミジンコ、粉状の配合飼料を与え、魚の成長と共に粒径の大きいタイプに切替えて飼育していきます。

(養殖研究室)